

令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

1 事業の成果

平成24年6月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートすることを目標に活動している。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ管区ミャウンミヤタウンシップの12の村で平成27年1月から巡回診療を開始した。その活動は昨年度に引き続き地域の住民の命を守り、生活を守ることに注視した。その背景に、令和3年2月1日からの非常事態宣言の影響で住民の生活環境が急速に低下したことが起因する。そのためには、命を守り、生活を守るために保健衛生指導だけではなく、昨年から本格的に開始した安全な飲み水を提供するための井戸掘りや、学校への文房具配布寄付は1763人の子どもたちへ学びの機会を継続することができた良い例である。これらの機会は住民や学校との連携に強い絆を構築することができた。さらにこの活動は、手洗いや歯磨き指導などの学校保健へ繋がり、学校と連携し約50回実地することができ、延べ2907人の生徒にその重要性を伝えることができた。また、雨季に草履がないため裸足で通学せざるをえない子どもたちに怪我が生じないようにサンダルの寄付も行った。しかし、一方で、一昨年計画した10年計画は保留のままである。当会は、セキュリティを慎重に考慮し、今年度の活動は12村中5村で行っていた。が令和8年度は活動村を少しずつ戻す予定でいる。

今年度、医療事業では、昨年再開した巡回診療数は計11回と減少し、延べ290人の受診者となった。保健衛生指導の参加者数は290人となり（約30人/回）。病人の搬送はなかった。住民の中にはMFCGの活動の必要性を再認識してくれた人もいた。MFCGのミッションである住民の自立（自律）を啓蒙する一貫として、育成した各村での地域保健推進員（CHP）らがMFCGのメンバーの一員として彼ら自身が保健衛生の大切さを住民に広めている。彼らは自分たちで村ごとに目標を掲げ、それを達成するにはどうすればよいか？など毎月、必ずミーティングを行い、改善策を練り、実践につなげている。特にトイ村のCHPの一昨年度からの目標は、高血圧の人の発見と予防。さらに治療薬の継続的な内服などである。その戦略の一つをして、VISITING CARDを作成し、毎日曜ごとに40歳以上の希望者の血圧を測定し、村にいる助産師との連携を行い、経過を注意深くみていく。そして、測定が10回目になったとき、石鹸を2個プレゼントするを行った。これは、住民自ら定期的なFOLLOW UPの行動を自発的に起す体制を構築していくという画期的な活動である。その結果、7月から12月までの6か月間で延べ1513人の受診者を得、そのうち、10回継続して血圧測定した受診者は135名にも及んだ。無症状でかつ血圧が高い人は医療施設への連携を行うことができた。住民の中には、頭痛がした時、血圧が高いのではと、CHPに血圧測定を依頼する自発的な行動変革も現れた。今後もこの試みは継続していくことを決定した。令和8年度は Empowered Health to create Independent Future プロジェクトを計画しており、まず、以前、活動していた村の状況の聞き取り調査を令和8年5月末から開始する予定である。

農業事業において、保留になっている10年計画の代替として今年度10月から2年間計画の” Sharing Hand, Growing Hope in Organic Community Garden” を立ち上げた。これは、12の村のうちモデルケースとなるトイ村においてオーガニックの野菜を365日間栽培を可能にし、このプロジェクトに関わるメンバーが自立（自律）可能な体制を構築することを目指し、住民の栄養と健康を守り、副収入にもつながることを目的としている。事業第一期（令和7年10月から令和8年3月末）にマスタードや空心菜、パクチーなどの収穫を得ることができた。令和8年3月にこのプロジェクトの土地の土を盛り上げ、通年に渡り野菜の栽培と収穫が可能な体制を整えた。そして現在、日焼けの土地に適した野菜の種を選定しているところである。さらに特記すべきこ

とは3月28日にミャンマー中部で起きたマグネチュード7.7の地震の被災対策活動である。MFCGはシャン州の3村に毛布・蚊帳・マット・歯ブラシ・石鹸などを427世帯(約1534名)に寄付した。

一方、日本側では、ボランティアパートナーと呼ばれる支援者の方の企画参加が活発であった年になった。例えば、毎月第二土曜日に開催するMFCG会議に毎回平均12名のボランティアパートナーが参加されるようになった。さらに、7月の成恵会音楽部チャリティー演奏会、11月の初のマルシェ参加、3月の恒例の年に一度の活動報告会など全て彼らの手作りの企画と内容である。7月の成恵会チャリティー演奏会では約200人の方の参加をいただき、1月のお誕生日オンライン交流会も開催した。3月の“MFCG年に一度の活動報告会”を無事オンラインとオンラインのハイブリット形式で開催し、合計約50人のご支援者さまが参加してくださった。また、東京ロータリークラブ、川越ロータリークラブさらに、伊東西や大和田園ロータリークラブでの卓話ではミャンマーの現状とMFCGの活動をお伝えすることができた。令和7年度は資金の約86%を活動に充てることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
A)国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1.ヘルストーク(保健衛生)啓発活動(村)	令和7年4月1日～令和8年3月31日 計11回	ミャンマーエーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップ	6～7人	292人(HE)	12539
	2.活動報告会(MFCG参加イベント,MFCG年に一度の報告会など)	3月28日(土)	オンラインとオンラインのハイブリット	20人	約60人	
	1月31日お誕生日を祝う交流会	オンライン	約10人	約40人		
	3.活動啓発活動(参加イベント・インタビュー雑誌掲載など)	令和7年奇数号掲載寄稿文 計6回	鎌倉朝日新聞	1人	不特定	
		令和7年毎月掲載寄稿文 計12回	ミャンマージャポ ン毎月号	1人	不特定	
		各ロータリークラブでの卓話	大和田園ロータリークラブ	1人	約40人	

			東京ロータリークラブ 1人	約90人		
			小江戸川越ロータリークラブ 1人	約40人		
		毎週水曜のボランティアパートナーDAY・52回	MFCG事務所(東京) 172人	不特定		
		横浜マルシェの実地と講演会	横浜平和プラザホテル 約20人	不特定		
B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1. ヘルストーク(保健衛生)啓発活動	令和7年4月1日～令和8年3月31日	ミャンマーエーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップ	約4~6人	292人(HE)	3366
	2. ヘルストーク(保健衛生)啓発活動と安全な飲み水のための井戸掘り	令和7年4月1日～令和8年3月31日	トイ村 井戸掘り事業(第2回目) ミャンマーエーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップ	約4~6人	700人	
	3. ヘルストーク(保健衛生)啓発活動(学校保健)	約50回	ガヤジ村 ペネコン村モージョーパン村、トイ村の学校と尼僧院2院	約6~7人	2907人	
	4. ゴム草履寄付	令和7年10月	ガヤジ村・トイ村の学校	約6~7人	911人	
	5. 文具寄付(学校教育支援)	令和7年8月と10月	ガヤジ村 ペネコン村モージョーパン村、トイ村の学校と尼僧院2院	約6~7人	1763人	
C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1. 地震被害への緊急物資支援	令和7年5月1日～8日	3月28日発生したマグネチュード7.7の地震災害対策(シャン州)	約6~7人	1534人	4444

D) 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1. 専門家と連携した有機作物栽培の講習と実践	令和7年4月1日～令和8年3月31日 (Sharing Hand, Growing Hope in Organic Community Garden)	ミャンマーエーヤワディ管区ミャウンシヤタウンシップ 主にト-イ村	36人	不特定	6388
E) 生活向上をめざす人々を作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	1. 専門家との連携した有機作物栽培の講習と実践	同上	同上	36人	不特定	2505

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数